

取組概要

米水津中学校では、「夢を語り、心を耕す、郷土米水津を愛する生徒の育成」を目指し、生徒会を主体とした各取組（学力向上集会、体力向上「SOKEN」）を推進したり、地域のひと・もの・ことと関わったりする「米水津ing」の取組等を通して、生徒の主体性・コミュニケーション力の育成を図っている。

工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆重点目標ごとのチーム会議を定期的開催し、学校評価アンケート、生徒による授業評価等により実態把握を行うとともに、運営委員会において当月の反省・次月の取組を確認するなど、短期PDCAサイクルを確立している。
- ◆運営委員会にはSC、SSW、養護教諭も参加し、専門的な視点からの意見を反映させている。また、月1回の「ボトムアップシート」により全教職員が学校運営の見直し・検討を行っている。

働き方改革の工夫

- ◆定時退勤日を設定したり、計画年休取得を奨励したりするとともに、時間外勤務の届出制により勤務時間を意識した働き方につなげている。

授業づくりの工夫

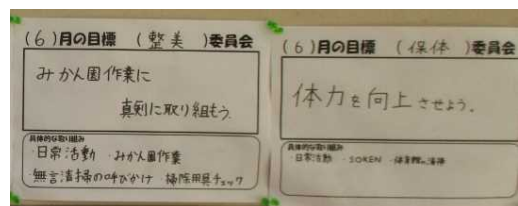
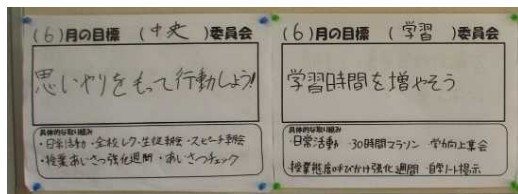


歌唱のポイントを明示 伸びやかに歌う生徒

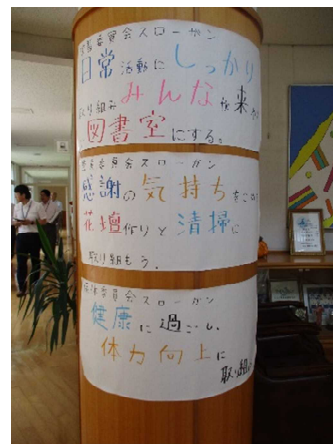
主体的に学ぶ生徒



自分の立場を決め、複数の視点から多面的に話し合う



生徒会が主体となって各活動に取り組んでいる



安全に気を付けながら、役割分担したり、実験の様子を録画したりするなどして実験に臨む



学び方の参考となるノートを掲示 学習委員会によるコメント入り